

いるまシルバーだより

公益社団法人 入間市シルバー人材センター

平成28年7月号 第89号

みんな元気で完歩証ゲット！



多くの市民の方に感動を与えた！



祝 市制施行50周年



声：第2回の開催が楽しみ！



平成28年度

定時総会 開催される

6月23日(木)午後1時30分より、入間市産業文化センターに於いて、平成28年度定時総会が開催されました。

総会に先立ち、平成27年度中に亡くなられた会員7名のご冥福をお祈りし、黙祷が行われました。

総会は、的場雄太事務局主任の司会で進められ、大坂理事長の挨拶のあと、来賓の中から、入間市長田中龍夫様、入間市議会議長金子俊雄様、当セ



平成28年度 定時総会 代表理事挨拶

ンター懇話会会長横田敬一様のご挨拶を頂きました。また、来賓としてご出席頂いた、入間市環境経済部長山崎利明様の紹介と、公益財団法人いきいき埼玉理事長茂木皇治様、埼玉県議会議員齊藤正明様、杉島理一郎様からの祝電が披露されました。

議事に入り、大坂理事長より、議決権を有する会員数1279名、本日の出席会員数153名、委任状提出者については、理事長960名、他理事10名、会員個人14名、計1137名定足数が満たされ、総会の成立が宣言されました。

議長には、豊岡東部の青木弘会員、議事録署名人に、藤沢地区の須田敏男会員、西武地区の中尾洋子会員の2名が選任され、書記に、事務局職員の高山京子次長と、的場雄太主任の2名が任命されました。

最初に、秋山補男監事の監査報告があり、続いて森田事務局長から、平成27年度事業報告の概要が行われ、賛成多数で承認されました。

説明がありました。

議案審議に入り、第1号議案「平成27年度計算書類等の承認について」は詳細の説明の後、質疑応答が行われ、賛成多数で承認されました。

第2号議案「会員の除名の承認について」は、

森田事務局長から地域班活動費の清算処理等に関する除名理由が説明され、弁明の有無が求められたが、弁明はないとの回答があり、会員の除名の審議が行われ、採決の結果、除名に賛成1080名、反対10名の除名に反対10名、棄権12名にて猪上好彦会員の除名が可決され、会員の資格はなくなりました。

次に報告事項「第1号、第2号」について事務局



定時総会終了後の会員懇親会で盛り上がる会員の皆さん

長より報告されました。

議案承認後、休憩に入り、その間、新理事による理事会が施設内で開かれ、代表理事、理事長に大坂隆俊副理事長に依田成彦、業務執行理事、常務理事兼事務局長に森田旭が選任され、直ちに会員に報告されました。

総会終了後、同施設内の1階和室にて、会員親睦会が開催され、約60名の会員と事務局職員の参加のもと終始和やかなうちにお互の親交が深められました。

平成28年度役員の紹介

代表理事	理事長	大坂 隆俊	(正会員)
代表理事	副理事長	依田 成彦	(正会員)
業務執行理事	常務理事		
兼事務局長	森田 旭	(正会員)	
阿部美津子	(正会員)		
小笠原輝美	(正会員)		
澤田 彰	(正会員)		
芹澤 勇	(正会員)		
高田 房美	(正会員)		
高橋 晶子	(正会員)		
中村三枝子	(正会員)		
法師 励	(特別会員)		
松本 勇雄	(正会員)		
門原 健男	(正会員)		
矢口 茂雄	(正会員)		
渡邊 慎吾	(正会員)		
佐野 光一	(正会員)		

定時総会 理事長挨拶

代表理事 理事長 大坂 隆俊



会員の皆様、こんにちは。

本日は、平成28年度定時総会開催にあたり、ご出席を頂きましてありがとうございます。

また、公務ご多忙にもかかわらず、田中入間市長様をはじめ、日頃ご支援を頂いておりますご来賓の方々のご臨席を賜りまして、心より厚くお礼を申し上げます。

開会にあたりましてひと言、ご挨拶を申し述べさせて頂きます。

高齢者が、地域で多様な就業ニーズに応じて働き、社会を支える活動ができる場として、安倍総理が国会で「シルバー人材センターの活用」を話されたことは、まだ、記憶に新しいところであります。

国は、経済、或いは社会環境で、高齢者の潜在能力を活用する取り組みが必要と考え「生涯現役社会」の実現に向け、企業や地方自治体にその推進を促しております。

このような背景には、国内の労働力不足が深刻な問題として起きております。

そして、この2～3年、団塊世代の方が、65歳定年を迎えており、彼らの能力や資質を活かしていくため、シルバー人材センターの人材派遣

事業を発展させ、職域の拡大や、就業時間の制限を緩和し、さらに、この分野への補助金を厚くするなどして、その充実を図ろうとしております。

当センターにおきましても、昨年度は、5社の企業様との間で、人材派遣契約が結ばれ、約20名の会員さんが就業いたしております。

契約金額は、まだまだ大きくはありませんが、従来の請負・委任契約の拡大、独自事業の更なる充実とともに、今後、力を入れていかなければならぬ分野であると考えております。

平成27年度の事業実績に関しましては、後程、事務局より詳細説明がなされますが、過去5年間の実績で見た場合、平成25年度に一番低い状態がありました。その後、回復の傾向にあり、わずかではありますが、一昨年度、昨年度と増加の傾向にあります。

財務内容につきましても、いわゆる收支相償の会計基準をクリアすることができ、さらに、将来に備え、現在の事務所の修繕費用等の準備にも配慮ができるよう状況にあります。

このことは、市役所様をはじめ、お仕事を頂いております多くの企業様や、市民の皆様方のご支援の賜によるものであり、また、会員皆様、事務局職員など、センターの事業に、ご協力・ご尽力を頂いている方々の努力の結果によるものであります。深く感謝を申し上げる次第であります。

昨年度は、また、輝く女性の会「さくらんば」が発足し、更に、今年の2月には、センター主催の第1回元気な入間ウォーキング大会を開催いた

しました。

これらの行事を通じて、多くの市民の皆様に、当センターを知つて頂きたいと思います。

今後も、地域から愛され、地域に貢献する法人

として全会員が心を一つにして参りたいと思います。

最後になりますが、会員皆様が当センターの事務を二年二ヶ月、現塙三文子をやつて採り、元氣で

* 理事会開催状況 *

第1回 平成28年4月28日

審議事項

- | | |
|-----------------|--|
| 2.訴訟事案の処理経過について | 1.業務執行状況並びに一般報告事項 |
| 2.役員改選手続きについて | 3.委員会委員の任期の取り扱いについて
4.介護事業・日常生活支援事業について
5.会員除名に関する処理手順について |
| 1.退会者について | |

第2回 平成28年5月26日

審議事項

- ## 1. 新入会員の承認について

1. 退会者について
2. 訴訟事案の処理経過について
3. 刑事告訴の提起について
4. 代表理事・業務執行理事の業務執行状況報告
5. 平成27年度会計書類等の承認について
6. 車輌の購入について
7. 理事の選任（案）の承認について
8. 監事の選任（案）の承認について
9. 業務執行状況並びに一般報告事項

總務委員會

委員長 森田 旭

平成2年度総務委員会は 次の掲げる諸事項を
重点に検討し、推進して来ました。

①会員入会説明会の促進について

②会員研修年間計画について

③市民参加の親睦交流旅行の実施について

(4) 第7回元氣な人間文化祭開催につけて

（第五回元氣が一瞬で自然開化していく）

○五員の皆様へのお知らせ発行について

6
輝く女

た支援

て
⑦第1回元気な入間ウオーキング大会開催について

⑧常設展示場設置について

検討の結果に基づき、実行に移せるものから順次実行して来ました。

会員入会説明会については、定例の説明会に加えて、地域巡回型説明会を企画し、会員募集委員会と共同して地域公民館を中心に入会説明会を開催し、参加者の増を目指しました。

市民参加の親睦交流旅行については、公益社団法人の運営理念に従い、「会員親睦旅行」から「市

民参加の交流親睦旅行」として新たに企画し実施いたしました。江の島・鎌倉方面への日帰り旅行

を楽しんでいただきました。

輝く女性の会（愛称・さくらんぼ）の発足に向けた諸準備・発足総会の開催・その後の運営に全面的な支援活動を行つてきました。このたび、全シ協の「月刊シルバー」に寄稿依頼を受けましたので、活動に励みになることと思います。今後の活躍に大きな期待が寄せられます。

第1回元気な入間ウォーキング大会開催については100名の実行委員会を組織させていただき開催し、400名を超える多くの市民の皆様にご参加をいただき、無事に終了いたしました。様々な立場の方々から、シルバー人材センターの会員のパワーと地域社会に貢献しようとする姿に感銘した旨の評価をいただき、嬉しく思います。

常設展示場の設置については、センター事務所1階のフロアー並びに会員ホールに、展示スペースを増設したもので、会員の皆さん的作品展示やサークル活動の発表の場として活用していただきたいと思います。又、計画的に、市民の方々の作品展示などもお願いし、私たちが少しでも心豊かな日々が過ごせるように活用が進められれば良いと思います。

個人・サークル・その他のグループの展示希望の受付を行つています。センター事務局へお問い合わせ下さい。

安全就業委員会

委員長 芹澤 勇

今回は、安全パトロールをした職場を紹介します。はじめに武藏野育大の現場を視察しました。

学校周辺の道路面に飛び出している小枝やカヤ等を刈り取る作業、並びに学校内の物置、倉庫等の整理整頓状況を確認しましたが特に危険な箇所も見当たりませんでした。

次に仏子駅前の駐輪場を視察しました。慌ただしい時間帯にもかかわらず非常にきれいに自転車を整理しており大変驚きました。「何時も駐輪場の利用者は自分で止めていかれるのですか?」と聞いたところ「どんでもありません。これは私が皆さんが出電車に乗つて行かれた後で一台一台整理整頓しているんです」とのこと、会員さんの仕事ぶりには目を見張るものがありました。更に入間市駅ですが、北口、南口があり、かなりの乗降客があり、駐輪場の利用者は大勢おります。特に北口駐輪場の整理は一人や二人では出来ないほどの台数で大変な職場であると思いました。

三カ所目は藤沢駅周辺の駐輪場で特に目立つて危険な状況ではなく、淡々と自転車の片付けがなされておりました。

次は大型商業店舗を視察しました。このような大型店舗の場合、エスカレーターの乗降口は特に注意して見ておかないと、子供づれのお母さんや、お年寄りの方は手助けが必要となる場合がありますので常に緊張感を持つて取り組むことが大切でした。

地域班活動委員会

委員長 渡邊 慎吾

今回は、地域班の組織と活動、そして新役員の紹介をさせていただきます。

一、組織

公民館エリア毎に七つの地域班が組織されています。

- ①豊岡東部地域班（東町、久保稻荷）
- ②豊岡西部地域班（扇町屋、高倉、黒須）
- ③西武地域班（西武）
- ④金子地域班（金子）
- ⑤宮寺・二本木地域班（宮寺、二本木）
- ⑥東金子地域班（東金子）
- ⑦藤沢地域班（藤沢、東藤沢、藤の台）

二、地域班の基本的な活動の内容

- ①会員の福利厚生に関すること

最後に工業団地内の企業様を視察し、工場内の流れ作業を見させていただいた折り、近くにいた係長クラスの方が近づいて話されるには、「入間市シルバー人材センターから派遣されてこられる方は、大変まじめな方ばかりで流れ作業にも遅れず、てきぱきと仕事をして頂いて助かっています」と言われ、私も思わず感動致しました。

入間市シルバー人材センター此処にありと思います。これも一重に全会員の皆様方の常日頃からの精勤、精練、ご努力の賜とります。

これからもぜひ『安全第一』をモットーに仕事に取り組みましょう。

②情報の伝達収集に関すること

③センター事業運営への協力に関すること

④地域班相互の協力に関すること

⑤その他理事会の指示事項に関すること

三、地域班役職員

豊岡東部地域班

班長	川上 功
副班長	横田 充
副班長	田沼 貞夫
副班長	多田 守久
副班長	市川 正好
副班長	石川 博明
副班長	松本 和之
副班長	神田 雅子
副班長	土屋 智子
副班長	安藤 鏡馨
副班長	神崎 敏一
副班長	向山 文本
副班長	本橋 洋志
副班長	鹿倉 政男
副班長	近岡 松三
班長	角田健太郎
副班長	下平敬一郎
副班長	山本 正夫
副班長	小谷 満
副班長	須田 勉

西武地域班

班長	川上 功
副班長	横田 充
副班長	田沼 貞夫
副班長	多田 守久
副班長	市川 正好
副班長	石川 博明
副班長	松本 和之
副班長	神田 雅子
副班長	土屋 智子
副班長	安藤 鏡馨
副班長	神崎 敏一
副班長	向山 文本
副班長	本橋 洋志
副班長	鹿倉 政男
副班長	近岡 松三
班長	角田健太郎
副班長	下平敬一郎
副班長	山本 正夫
副班長	小谷 満
副班長	須田 勉

金子地域班

班長	川上 功
副班長	横田 充
副班長	田沼 貞夫
副班長	多田 守久
副班長	市川 正好
副班長	石川 博明
副班長	松本 和之
副班長	神田 雅子
副班長	土屋 智子
副班長	安藤 鏡馨
副班長	神崎 敏一
副班長	向山 文本
副班長	本橋 洋志
副班長	鹿倉 政男
副班長	近岡 松三
班長	角田健太郎
副班長	下平敬一郎
副班長	山本 正夫
副班長	小谷 満
副班長	須田 勉

藤沢地域班

班長	川上 功
副班長	横田 充
副班長	田沼 貞夫
副班長	多田 守久
副班長	市川 正好
副班長	石川 博明
副班長	松本 和之
副班長	神田 雅子
副班長	土屋 智子
副班長	安藤 鏡馨
副班長	神崎 敏一
副班長	向山 文本
副班長	本橋 洋志
副班長	鹿倉 政男
副班長	近岡 松三
班長	角田健太郎
副班長	下平敬一郎
副班長	山本 正夫
副班長	小谷 満
副班長	須田 勉

就業拡大委員会

委員長 松本勇雄

平成26年9月に、就業拡大委員長を委嘱され、これまでに、就業拡大・起業化・適正就業等の重要事項について検討を進めてきましたが、当センターの益々の発展を期待して活動状況と展望について総括してみました。

就業拡大を検討するにあたって、先ずは、公共と民間に色分けしたマップを作成しました。これによつて、就業先が入間市全域に亘っていることを知ることができました。就業拡大については理事会への提案のみで、新規開拓先へ案内文を送る等の具体的なアプローチはできませんでしたが、このマップを活用して就業拡大に繋げていくことを期待しています。

起業化についても、結果的にはマップの作成にとどまつてしましましたが、シルバー農園・空き家管理、更には他センターの実例も含めて意見交換ができたことは、非常に有意義なことでした。他センターの見学・会員からのアイデア募集等、実現に向けて理事会に提案しております。今後は、具体化に向けて検討を進めていきたいと思います。

適正就業の最も大事なことは、会員の適材適所の実現であり、このために頑張られている就業開拓担当者を、少しでもフォローアップできる体制を整えるために、就業先マップの作成を急ぎました。が、残念ながら職群班研修会場等に展示して見ていただく程度にとどまり、就業開拓担当者への手助けをするまでには至りませんでした。ご承知

のように、就業開拓はセンターにとって最も重要な業務のひとつであります。

職群班研修会については、森田事務局長の協力を得て、計6回開催しましたが、就業のあり方や仕組み、更には当センターの基本理念等を大勢の方に知つていただきことができ、非常に良かつたと思っています。

最後に、派遣事業の促進については、センターの総力をもつて事に当たられることを期待しています。今後共、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

会員募集委員会

委員長 門原 健男

平成27年度の会員募集委員会は、前年度に引き続き会員7名と事務局職員1名の8名で実施しました。

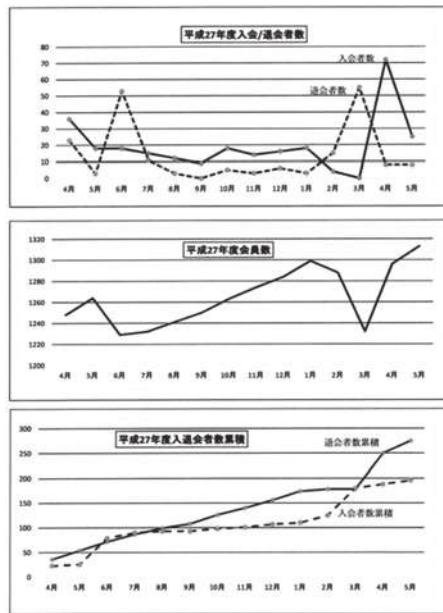
年度内で7回の委員会を開催し、夫々その委員会までの実施結果と問題点について話し合い、今後の予定と実施方法について検討し実施に移しました。それらは、①入会説明会開催案内のポスターリリースを約100枚印刷してラミネート処理し掲示しました。又、総務委員会の協力を得て地区公民館の会議室をお借りして地域入会説明会を五カ所で開催しました。この地域入会説明会では回覧チラシを合計で約4千枚印刷し、各公民館にお願いして当該各地区の各戸へ回覧して頂きました。更に約80枚の個別ポスターも作成し、地域班役職員の方のご協力により夫々の該当地区に掲示して頂きました。これら活動の成果として、

月別入退会者数推移とこれに伴う会員数推移を図に示しました。これを見ますと、6月は会員が激減しましたが、その後は入会者数が退会者数を上回り、年度末会員数は前年度末とほぼ同じとなりました。平成28年度に入つてからは入会者数は徐々に増加し、7月1日には会員数は1280名となつており、会員募集委員会活動の成果が少しずつ出始めてきたのではと考えています。これは地域班役職員及び理事の方、各会員の方々のご協力とご支援のおかげと、心から深く感謝申し上げます。

輝く女性の会（愛称：さくらんぼ） 活動報告

会長 高田 房美

公益社団法人入間市シルバー人材センター・輝く女性の会（愛称：さくらんぼ）は、発足して1周



平成28年度総会

年を迎えることになります。大きな期待も寄せられ、プレッシャーがありましたが、ここに1年間の活動報告が

できます。

さくらんぼの第1回の総会であり、記念してアトラクションとして、二胡とヴァイオリンの演奏会を開催し、楽しいひと時を過ごしました。市内在住の瀬戸一久様ご夫妻の出演のご協力をいただき、素晴らしい演奏会を演出していただきました。1年間の活動の様子を紹介させていただきました。

- ①役員会の開催5回
- ②さくらんぼ便り発行2回
- ③入間万燈まつり出店
- ④入間市生涯学習フェスティバル出店
- ⑤小物作り講習会開催
- ⑥第1回元気な入間ウォーキング大会参加と協力
- ⑦第7回元気な入間文化祭に出店参加と運営協力
- ⑧会員交流茶話会と笑いヨガを楽しむ会開催・・など

現在、全国シルバー人材センター協会が発行する「月刊シルバー」に寄稿の依頼を受け、原稿の作成中です。全国のシルバー人材センターの皆様へ、さくらんぼの活動を紹介する機会をいたしましたことは、大変光栄なことだと思います。

さくらんぼの会の活動に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※当シルバー人材センターの女性会員の活動状況については、公益財団法人いきいき埼玉発行の『あぶろく2016・6・夏号』に「輝く女性であり続けたい－家事援助事業に取り組んでいます－とのテーマで取り上げられました。その記事を別紙として添付してあります。

去る5月12日（土）東藤沢公民館のホールをお借りし、平成28年度総会を開催いたしました。大坂理事長・相談役の森田事務局長のご出席もいただき、多くの会員の皆さんのが参加のもと、無事に終了することが出来ました。関係の皆様に心から感謝申し上げます。

総会の中では、①平成27年度事業報告について②平成27年度収支決算報告について並びに監査報告③平成28年度事業計画（案）について④平成28年度収支予算（案）について⑤役員の交代について検討し承認していただきました。

第1回元気な入間ウォーキング大会開催を終えて

第1回元気な入間ウォーキング大会

実行委員会委員長 森田 旭

私達入間市シルバー人材センターは、平成24年に公益社団法人として認定を受け、公益のための事業のみ実施する法人として発足し、運営されています。

特に、公益社団法人としての責務として、地域社会と連携し、地域に貢献できる事業運営が求められており、今回実施したウォーキング大会は、その一環として開催したものです。

多くの市民の皆様と共に、元気な入間を推進するため、このウォーキングをとおして、人と人との交流を深め、ぬくもりや思いやりのある地域社会づくりに貢献できたら、それは素晴らしいことです。

- 実行委員会の設置
- まず、運営組織として、100名で構成する「元気な入間ウォーキング大会実行委員会」を設置させていただきました。理事・地域班・職群班・各委員会・輝く女性の会（愛称：さくらんぼ）の役職者を中心に選出いただきました。
- 期日・コースの設定
- 期日は、2月7日（日）、コースは、ハイキングの会が下見など実施し提案された「入間川遊歩道」



は、驚きです！

②是非2回目を企画して欲しい
がらのウォーキングは感激した。初めての体験！

- こんなうれしい依頼があり感銘
- ウォーキング大会の開催体験を生かして実行委員の協力の要請がセンターに届きました！

①入間市・西武鉄道㈱・入間市観光協会・入間市シルバー人材センター共催として、「市制施行50周年記念・いるまの魅力ウォーキング」が、5月3日（火・祝）に開催され、実行委員8名が協力しました。2900名の参加イベントでした。
②「市制施行50周年記念事業入間市ワンテーマ」を、9月25日（日）に開催する計画が決定され、実行委員会が発足しました。

この実行委員の要請を受け、事務局職員の高山次長と的場主任が参加し、活躍中です。センターとして参加できることは、本当に素晴らしいことです。

- 広報
- ①入間市報掲載 ②ポスター ③チラシ ④シルバーだより ⑤F Mチャッピー 活用
- 開催結果
- 参加者数 大人298名・子供11名・実行委員96名 総参加者数405名
- 寄せられた声など
- ①シルバーセンターの会員の力で開催されたこと

● 今後も、これら普及啓発事業にも積極的に参加し、センターの会員の持てるパワーや元気な活動の姿を多くの市民の皆さんにアピールして行けたら、就業先の拡大にも大きな役割を果たせることと思います。

◇ 仲間の職場紹介コーナー ◇

株式会社 丸福サービスで就業する仲間



今回は入間市狭山ヶ原にある株式会社丸福サービス入間事業所様に就業している仲間を訪ねました。

この会社は東京に本社を置き、物流関係の業務を主としておりますが、入間事業所では、㈱ポップラ社入間物流センターの業務を一括請負しておられます。案内されて建物の中に入ると、大きな空間からブーンと紙の匂い、そしてうず高く積まれた書籍が整然と並んでおりました。この会社の業務は、出版社で発行された書籍を仕分け、最終的に納入先に誤りなく届けることです。当シルバー人材センターからは28名の会員が就業しており、ふたつの工程を請け負つておりました。そのうちのひとつは建物2階で行われている本の搬送業務です。ここでは書籍を1階のセンターの所定場所にエレベーター等の垂直搬送機により送り込んでおりました。各書籍毎の需要の多寡によりパレット毎に仕分けされ、扱うそれぞれの単位に応じてカゴ台車やハンドリフトを用いて誤りのないように補充していくなくてはなりません。そしてこの作業をハンディターミナル

により情報を授受しながら行つておりました。限られたスペースの中で、皆さんのがきびきびと行動されていたのが印象的でした。重い書籍を扱うので、とくに腰などを痛めることのないよう皆さんが注意しながら作業をしておりました。

もうひとつの工程は3階で行われている返品・出荷本の分別です。まず私たちの目に入ったのは長いベルトコンベアでした。そしてここに書籍が一冊ずつ絶えまなく流れしており、途中でそれぞれの選別されたラインへ分別され、最終的に行く先毎の箱へ収納されていました。出荷本、返品本を営業所毎に分別しているとの説明をお聞きし、このしくみがわかりました。ここでは、コンベアの書籍を円滑に流していくことが重要な業務です。とくに営業所毎に枝分かれしているラインへは書籍が渋滞するため、長い棒のような機器を用いてスムースに収納されるよう努めておりました。か

なりのスピードで流れてくるので、

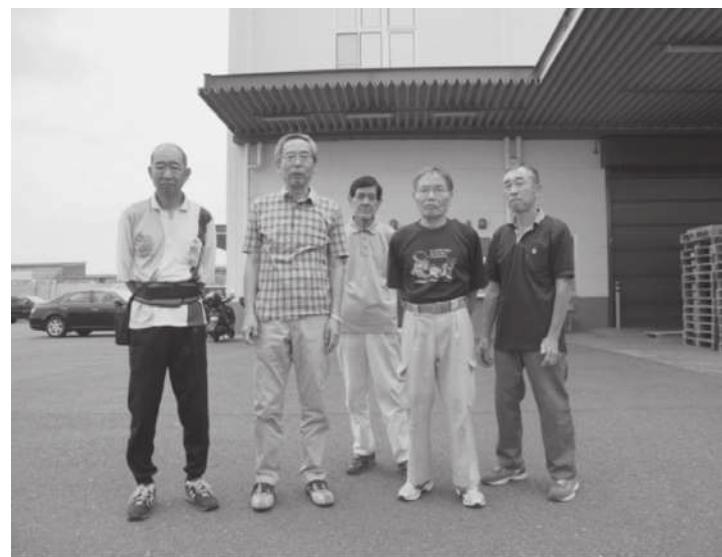
ことで、3名の会員が長いコンベアのあちこちを監視しながら巡回し、そしてこの業務については、午前、午後、夜間の三交代での就業をしているそうです。

限られた時間での訪問でしたが、膨大な種類と数の書籍が納入先ごとに分別され各地に配達されいく、まさにここは文化の流通拠点であり、私達の仲間が会社と一緒に明るくその一翼を担つてていることに感激しました。

お世話になつてている株式会社丸福サービス様、そして就業している会員の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます



返品・出荷本の分別



当日就業の会員の皆さん

**地域班・職業班・サークルなど
各グループからの活動報告**

藤沢地域班「新春懇談会」を開催

藤沢地域班 班長 山本 正夫

今年1月、会員46名が集い、新春懇談会を開きました。森田事務局長のご出席をいただき、盛会の内に行なわれました。第1部の会員研修は、「地域包括センターの仕組み」として、社会福祉士の

河合輝幸氏の講演。私共シルバー年代に有用なお話をでした。第2部は、「開運福引」と「カラオケ」



皆さんの心はひとつに！



盛り上がる懇親会

**官寺・一本木地域班
「清掃ボランティア活動」の実施**

官寺・一本木地域班 班長 向山 文本

2月28日(日)入間市老人福祉センター「やまゆり荘」の外部近辺、道路等でのごみの収集、集積等による清掃活動を実施しました。当日は27名の



収集したごみの分別処理

の台祭り」の2回、班独自の出店がありますが、主としてそこで利益金が懇親会の財源で、延べ30人もの分会長さん、会員さんが一致協力し、汗をかいてくれた成果です。多くの先輩達の努力の積み上げが、現在にまで継続されている事を思うとき次への意欲に繋がります。

会員が参加しました。

周辺道路を5ルートに分け、それぞれ皆さんのがみを収集。たばこの吸い殻から粗大ごみまで、袋には種々雑多なごみでいっぱいとなりました。集積したごみは、参加者全員で分別し、それぞれの袋に詰め替え、軽トラック一台分に収めきれないのでの量となりました。最終処分には当センターの担当の方のご協力をいただきました。

早春の肌寒い朝の2時間程度のボランティア活動



活動を終え、「おつかれさまでした。」

交通安全・振り込め詐欺防止講習会

2月23日(火)、入間市勤労福祉センターにおいて、高齢者の交通事故防止と、振り込め詐欺の最近の手口と対策について、狭山警察署の担当者を講師に迎え講習会を実施しました。71名の参加があり、大変有意義なものになりました。

会員の皆さん、歩行中や自転車に乗る時は十分に注意してください。また、不審な電話があったときは、身近な人や警察に相談、連絡しましょう。

文芸作品大募集!

皆さんの文芸作品を募集しております。「シルバーだより」へぜひご投稿ください。

俳句、短歌、川柳など 次回のシルバーだより(29・1発行予定)へ載せましょう。

(広報委員会)



動でしたが、参加した皆さん、「()のような活動で少しでも地域のお役に立てれば」と、満足されておりました。そしてこの活動を通じ、会員の親睦を図りながら当地域班の仲間の絆がまた深められたように思います。

私達、シルバー人材センターの会員が中心になつて活動しているサークルがいくつあるか?存知ですか?

過日、会員の皆様へ配布しました「元気で爽やかなセンターを目指して一会員活動の手引き」最終ページに掲載しておりますが、現在8サークルが発足しており、大勢の会員さんが元気に、楽しく活動されています。

それぞれのサークルが新会員さんの参加を待ち望んでいます。

是非、ぜひ検討ください。

- ① 囲碁愛好会
- ② 畫道愛好会
- ③ 絵画サークル
- ④ 「ルフクリブ」
- ⑤ 手打わらは・つじんを楽しむ会
- ⑥ ハイキングの会
- ⑦ 元気な入間阿波踊り愛好会
- ⑧ 櫻の会(木彫り)

サークル活動に 参加してみませんか!

第7回「元気な入間文化祭」

開催結果について

第7回「元気な入間文化祭」は、平成27年度事業計画に基づき、開催されました。

総務委員会が実施計画を検討し、文化祭実行委員会を設置して運営を進めてきました。

● 開催趣旨

テーマ：きっと多くの人の出会いと、新しい発見がある！

文化祭の開催は、当センターが公益社団法人として社会貢献の立場に立ち、会員の文化活動の発表の場を提供すると共に、市民と一緒に楽しめる文化祭を創造して行くことを目標として開催しました。

● 開催日

平成28年3月25日(土)～26日(日) 2日間

● 会場

入間市勤労福祉センター
入間市シルバー人材センター

● 開催内容

- ① 作品展示の部
- ② バラエティーショーの部
- ③ 出店の部

● 参加数

- | | |
|-----------------|------|
| ① 加者数 | 567名 |
| ② 作品出品数 | 57点 |
| ③ バラエティーショー出演者数 | 161名 |

※次回開催へ向かって準備しますよ！



「きっと多くの人の出会いと、新しい発見がある！」



皆さんのおかげで平成28年度定時総会も無事終了しました。
これからも入間市シルバー人材センターを盛りたてるようご協力を願います。
私達の仲間として全国のシルバー人材センターは、1314団体、会員総数72万人、埼玉県は61団体4万7千人の会員で活動しております。

当入間市シルバー人材センターの会員も1280名となりました。7月14日には公共施設管理者に対し、普通救命士(AED扱い)の講習会を実施しました。利用者の安全にも寄与できる体制づくりなど入間市民にも貢献できる事業もますます拡充させていきたいと考えております。働くことをとおして健康を維持し、家族に感謝しながら精神的にも豊かなおおらかな気持ちで、お互いに熱中症などに注意して、何時もペットボトルを携帯するなど水分を十分補給しながらこの暑い夏を乗り切りましょう。

(広報委員会)

会員数

(平成28年7月1日現在)

男 920名 計 1,280名
女 360名

発行所

公益社団法人
入間市シルバー人材センター
〒358-0014
埼玉県入間市宮寺4102-288
TEL 04-2934-5350(代)
FAX 04-2934-5307
E-mail iruma@sjc.ne.jp

編集後記



写真前列左から:高橋晶子さん、高田房美さん、大橋とし子さん
後列:庄司淑子さん、高橋紀代子さん、安藤良子主任

入間市は県南西部に位置し、丘陵地には茶畠が広がっています。入間市シルバー人材センターが高齢者の介護・家事援助事業に取り組み始めたのは平成9年ごろのことです。一人暮らしの高齢者の薬の受け取りとか、調理のお手伝いなどから始まりました。

介護保険制度が平成12年に施行されてからは、それまで積み重ねてきたノウハウを生かして地域包括支援センターの主任ケアマネジャーと連携を取りながら仕事をすることが多くなりました。

センターでは新入会員にマナー研修を行います。家事援助の初級研修を行います。家事援助、介護の仕事は家庭に入つて利用者に接する仕事ですから、様々なケースがあります。そのために「困難事例集」という冊子が作られていて学ぶようになっています。

今では360人の女性会員のうち約70人が家事援助事業班に登録しています。

大掃除や電気機器の清掃などは男性会員も加わって、一緒に就業します。仕事内容で多いのは風呂場やトイレの清掃、「ゴミの片付け」など

陵地には茶畠が広がっています。入間市シルバー人材センターが高齢者の介護・家事援助事業に取り組み始めたのは平成9年ごろのことです。一人暮らしの高齢者の薬の受け取りとか、調理のお手伝いなどから始まりました。

介護保険制度が平成12年に施行されてからは、それまで積み重ねてきたノウハウを生かして地域包括支援センターの主任ケアマネジャーと連携を取りながら仕事をすることが多くなりました。

センターでは新入会員にマナー研修を行います。家事援助の初級研修を行います。家事援助、介護の仕事は家庭に入つて利用者に接する仕事ですから、様々なケースがあります。そのために「困難事例集」という冊子が作られていて学ぶようになっています。

また、市の認知症サポーター養成講座などにも積極的に参加するようになっています。

月に100件を超える仕事の依頼があり、そのうち9割ほどは定期的な利用者です。

②事業主任の安藤良子さんが話します。「利用者が高齢化している、その対応には難しさがあります。会員は仕事熱心で、トイレをピカピカに磨いて喜ばれて、トイレの神様と呼ばれる人も何人かいます」

③「この仕事を選ぶ人はボランティア精神に富み、我慢強く利用者にうまく対応します」と会員理事の高田房美さんが話します。陶芸で粘土をいじるのが趣味です。

インタビューに答えてくれたのは63歳から74歳までの5人の会員です。どなたも落ち着いたしつかりした雰囲気の方で、利用者からも厚い信頼を得ている感じです。

④「いろいろな家庭を見ると、わが身を振り返り、とても勉強になります。自分もそんな高齢者になります。自分もそんな高齢者になりたいと思わせられることもたびたびあります」と高橋晶子さん。仕事のない日は「デイサービス施設で折り紙を教えています。

⑤「利用者の体調には気をつけています。時にはセンターに連絡し、指示を待つこともあります」と大橋とし子さん。「ライブ、旅行など

通院の付き添いなどです。

多趣味です。

16